



奈良県知事

荒井 正吾

させていただきたいと思っています。

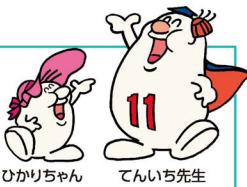
これまでの奈良県の流儀は、①統計重視 ②現場重視 ③市町村支援重視 ④チャレンジ精神です。これをさらに成熟させ、奈良県政の発展につなげたいと考えています。

奈良県政の最重要課題は、急速な人口減少・高齢化への対応です。奈良県特有のベッドタウンの諸課題を解消し、県内どこででも「住んで良し・働いて良し・訪れて良し」の新天地への更なる諸施策が必要です。

これから県政発展の道筋について、県民の皆様と深い議論をしたいと思っています。発展のテーマと目標を定め、議会や関係者の方々とそれを共有し、県民の皆様と共同行動をとれるようになればと願っています。

毎月11日は人権を確かめあう日

人権コーナー



「ただいま」「おかえり」のその次に…

奈良県は専業主婦が多く、育休をとて家にいるのもほとんどがお母さんです。

出産後は心身ともにダメージを受けており、そこに不慣れな子育てや夜泣きのストレス、寝不足が重なります。お父さんと赤ちゃんだけで外出されている光景を見かけると、お母さん、少しはゆっくりできるかな、と勝手に想像しています。

県の子育てに関する調査では、夫婦の分担状況は「子どもをあやす」「入浴」など12項目すべてにおいて、妻が約8割～9割を負担していました。夫が子育てに関われない理由の約8割が「仕事が忙しいから」。早く帰りたいけれど帰れない、子育ての時間がとれない、と悩んでいるお父さんも多いようです。しかし、妻は、夫が

「ねぎらってくれること」や「悩みや不安に耳を傾けてくれること」で、子育ての一体感をより強く感じるということがわかりました。

「ただいま」そして「おかえり」のその次に「今日もおつかれさま」「ありがとう」のひとことを。慣れない照れくさいかも知れませんが、お互いのそんなひとことが、疲れた心や体にしみしていく、のではないでしょうか。

今月のポスター



さかあいべ
五條市立阪合部小学校 6年
安藤 未稀さん



あおやま つばき
曾爾村立曾爾小学校 2年
青山 植さん

※学校名・学年・氏名は発表時のものです。

クイズ&プレゼント

正解者の中から抽選で

万葉文化館の
「万葉ふきん」
を5名にプレゼント!

締め切りは6月30日(消印有効)



※色は選べません。
万葉文化館
ミュージアムショップ
でも販売中!

○にあてはまる文字を答えてください。

Q 2021年度開業予定の歴史文化資源の「保存・修復」と「活用」を総合的に行う拠点の名称は?

A ○○歴史芸術文化村

ヒントは
4ページ

4月号の答えは“5017”でした。応募総数254件。

ハガキにクイズの答えと、住所、氏名、年齢、電話番号、「県民だより奈良」の感想(良かったコーナー・取り上げてほしい話題・改善点など)を記入して、〒630-8501(住所記入不要)奈良県広報広聴課へ。

④www.pref.nara.jp/3022.htmからも6/1以降応募できます。

※個人情報は、プレゼントの発送以外には使用いたしません。